

13039 野外活動 a、b Outdoor Activities		2 年次～ a : 前、b : 後 2 単位	
担当者	大山 康彦	履修可能学科	E Pe Pc C W F
		関連資格	教職・社教(P e) 社教(E・P c・C)
サブタイトル	野外教育／自然体験学習（実習）の計画と運営		
授業内容 ねらい	<p>子供をとりまく環境から、ますます自然が失われつつある昨今、環境問題・自然保護等の野外教育に対する意識が高まり、学校教育の分野でも野外活動を積極的に取り入れる傾向がみられる。</p> <p>本授業は、小学生などを対象とした野外教育の考え方や実際の準備や運営について、夏季又は冬季の実習を通して得られる様々な体験から、指導者としての資質を高めることを目的としている。</p> <p>クラスを夏季コース（前期）と冬季コース（後期）の2つに分け、どちらか一つを選択し、半期授業＋実習の完結型形式で行う。自然の中での活動に関心を寄せ、意義を感じている学生の受講を望んでいる。</p> <p>夏季コースも冬季コースも共通する課題は次の4点である。</p> <p>1）自然の理解と認識（自然保護、環境問題に対する理解） 2）体験学習（百聞は一見にしかず） 3）グループワーク（共同生活・コミュニケーション） 4）創造性（工夫・チャレンジ・思考）</p> <p>実習地は、どちらも長野県・戸隠高原周辺で行う。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 野外活動で何をやるのか？ 2. 個人装備品の知識と準備 3. グループワーク 4. 役割分担と責任 5. 地図の読み方とコンパスワーク 6. トレッキングシューズでのトレーニング 7. 県内ハイキングコースでの実習（学外）5月中旬 8. 実習の反省と課題 9. 実習報告書作成法 10. 役割分担の中間報告 11. 地図とコンパスワーク（2） 12. 自然観察法 13. 実習録作成 14. 戸隠実習（3泊4日）長野県：8月上旬 15. 実習報告書の提出 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 冬季野外活動の課題 2. 冬季野外活動の装備について 3. グループワーク 4. 役割分担と責任 5. 地図の読み方とコンパスワーク 6. トレッキングシューズでのトレーニング 7. 県内ハイキングコースでの実習（学外）11月 8. 実習の反省と課題 9. 実習報告書作成法 10. プログラム原案作成と装備 11. コンパスワーク／ノルディック・ウォーキング 12. 実習録作成 13. 団体装備品の準備 14. 戸隠実習（3泊4日）長野県：2月中旬 15. 実習報告書の提出 	
教科書 参考書	教）『野外活動』（杏林書院）		
評価方法	1）出席点・受講態度 2）実習での課題遂行 3）実習報告書作成		
事前準備学習 履修条件等	<ul style="list-style-type: none"> ・各コースとも定員20名を限度とする。定員を超える場合には抽選とする。（なお、履修者が10名に満たない場合は開講できない。） ・1回目授業時に詳細なガイダンスを行い、それによって人数を決定する。 ・実習費の他に必要装備品の購入が必要となる。（実習費は約35,000-40,000円） ・半期+実習の集中授業形式。出席、受講態度が重要視される。 		